



活動報告

今月は感染管理
認定看護師

職員のインフルエンザの予防注射が終わりました。

今回は例年より2日長く、11/1～11/9までの平日、15:00～16:00で行いました。場所も、検診センターから3階のカンファレンス室に変更しました。例年、ワクチン接種は初日が最も多く、160名ぐらいの方が受けにこられます。そのほとんどが15:30までに集中していました。

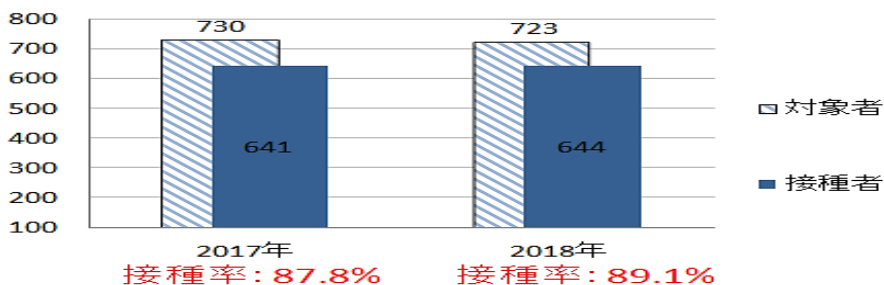
インフルエンザワクチンは1バイアルが二人分ですので、希望者が偶数になるように調整しています。そして、予定している人数分を事前に吸って準備しています。出来るだけ待ち時間が長くないように準備を行っています。ですので、当日、連絡もなく来られないと無駄になります。また、予定していない人が増えたりすると、その場で準備しないといけなくなり、お待たせすることになります。



例年、ワクチンを打つ側の看護師が4人ぐらいで、そちらでもお待たせしていましたが、今年は多数の医師にも問診をお願いし、各病棟から新人看護師さんにお手伝いに来ていただきました。おかげさまで職員567人、委託職員及びボランティアさん156名の合計723人のうち644名がワクチン接種を受けることができました。来年もご協力よろしく申し上げます。

対象者(全体)

1.3%UP↑





認定看護師の豆知識

今月は慢性心不全看護
認定看護師

心不全のガイドラインが改定されました

2017年改訂版として2018年3月に「急性・慢性心不全診療ガイドライン」として発行されました。これまで、急性心不全治療ガイドラインと慢性心不全治療ガイドラインは分けられていましたが、心不全診療治療ガイドラインとして1本化されました。

これは、急性心不全の多くが慢性心不全の急性増悪であり、急性期から慢性期までシームレスな治療の継続が必要であることから、診療ガイドラインも急性と慢性の2つに区分するのは現実的でないという認識に基づくものです。そのため、慢性・急性心不全のそれぞれ定義も「心不全の定義」にまとめられました。



心不全の定義

ガイドラインとしての定義

なんらかの心臓機能障害、すなわち、心臓に器質的およびあるいは機能的異常が生じて心ポンプ機能の代償機転が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動耐容能が低下する臨床症候群

一般向けの定義(わかりやすく表現したもの)

心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です

急性・慢性心不全ガイドライン(2017年改訂版)より抜粋

ガイドラインをまだ見たことがないという方は、インターネットですぐに検索できるので患者指導など興味のあるページからでも見てみてはいかがでしょうか。

慢性心不全看護認定看護師 原谷こずえ

カフェセミナー開催中！！

11:45から12:15セミナー1

昼ごはん持ち込みOK

12/25慢性心不全看護

1/15集中ケア1/29皮膚排泄ケア

2/12認知症看護2/26救急看護

奮ってご参加ください！

各分野電話番号

救急看護:村上 8863

慢性心不全看護:原谷 8154

感染管理:藪内 8623

皮膚排泄:大西 8397

認知症看護:藤原 8667

集中ケア:堀内 8676または
HCU1301

